



.....EXPO 2005 AICHI JAPAN.....

「愛・地球博」 環境Webアンケート 調査結果



2005年9月22日

(財)2005年日本国際博覧会協会



今回実施したアンケートの概要

「愛・地球博」の来場者に、会場内における「環境配慮」についてのご意見・ご感想や意識の変化などについて捉える。

調査対象

「愛・地球博」へ来場された方：1711名（2005年9月12日現在）

※ 2005年9月12日までの調査協力者を集計対象とした

調査方法

インターネット調査（協会ホームページにリンクを設け、調査票サイトへ誘導）

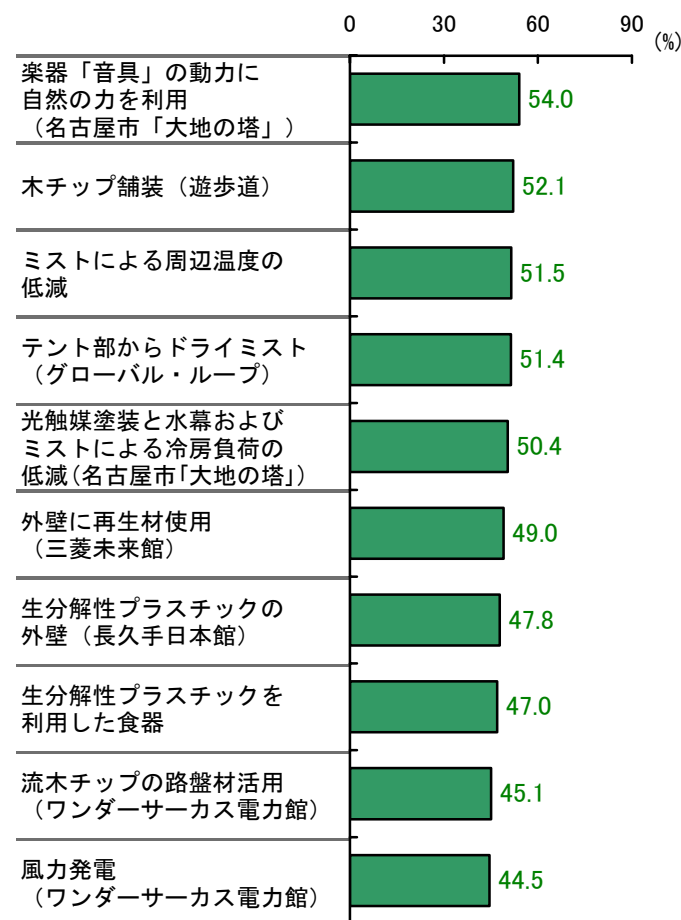
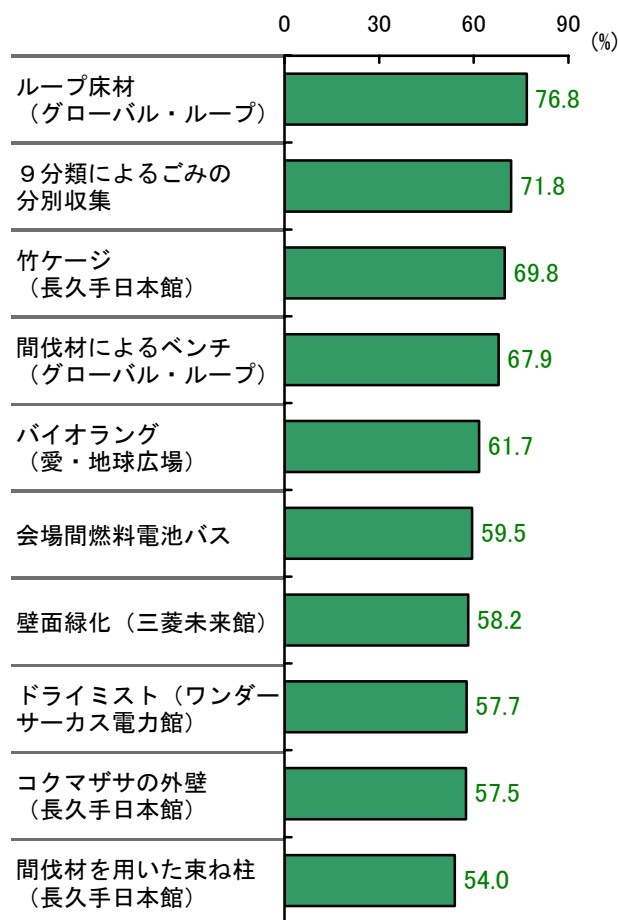
調査期間

2005年7月8日（金）0：00～9月30日（金）17：00



【1】見学したエコマップ掲載施設

<見学した施設（上位20施設）>



上位の施設は、施設に用いられる環境技術ではなく、場内で普通に見られるもの（ループ床材）や、施設の外観デザインとして目立つものが中心となっている。

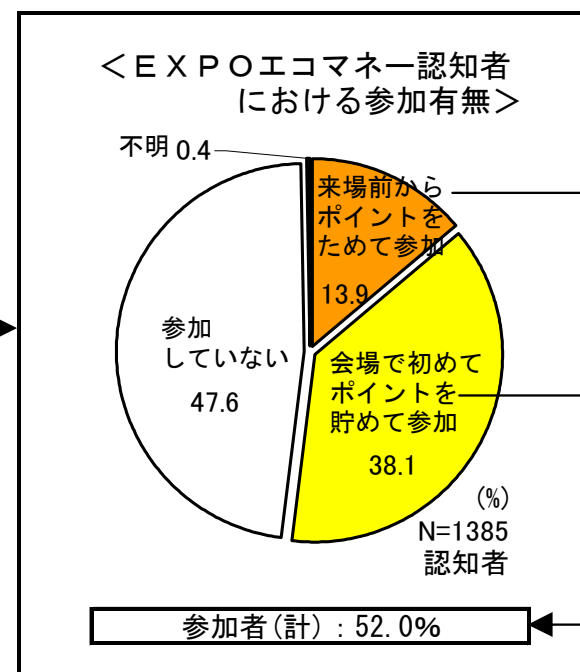
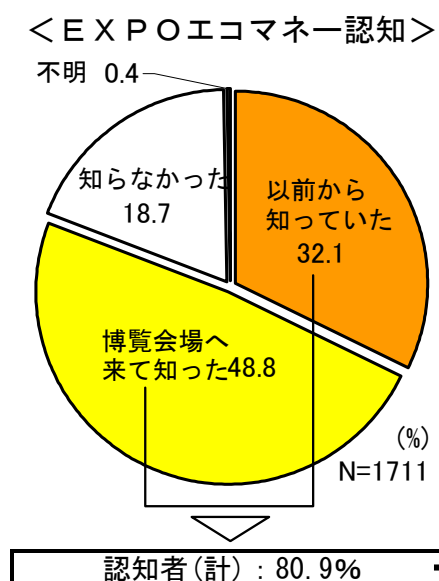
【1】見学したエコマップ掲載施設

＜見学した施設＞

	(%)
太陽光発電（ワンダーサーカス電力館）	43.8
お土産品の包装への再生紙利用やレジ袋削減等の取組	43.7
屋上緑化（ガスバビリオン）	43.2
太陽電池と風力発電（愛・地球広場）	41.3
アクア・ウォールによる空調構造（三井・東芝館）	39.0
両面受光太陽電池パネル（日立グループ館）	38.2
光触媒鋼板屋根（長久手日本館）	36.9
光触媒テント（JR東海 超電導リニア館）	35.6
廃鏡ガラスを利用した床（グローバル・コモン3：イタリア館）	33.3
風力発電（トヨタグループ館）	32.4
オブジェをつけた燃料電池（グローバル・ハウス）	32.3
再生繊維・植物繊維からできたユニホーム	31.7
竹と茶による建築（地球市民村）	31.1
木質プラスチックの歯車（中部千年共生村）	30.7
木を伐採せずに収穫できる100%天然素材のコルク（グローバル・コモン4：ポルトガル館）	30.2
太陽電池パネル（グローバル・コモン5：NEDO）	30.2
風力発電（知多市より 長久手愛知県館）	29.4
新エネルギー設備（グローバル・コモン5：NEDO）	29.3
火力発電所取水口に漂着したクラゲ・貝等のリサイクル（ワンダーサーカス電力館）	29.0
バナナの茎から紙作り（わんぱく宝島）	28.9
廃陶磁器による水受けボール	28.3
オーガニックガーデン（地球市民村）	27.2
ゴムの木を椅子に再生（三菱未来館）	27.2
生分解性プラスチックを利用したバナーや案内幕	25.1
会場の気象データや二酸化炭素濃度測定結果のホームページによる公開（万博アメダス）	24.4
木材リユース建築（瀬戸愛知館）	23.1
風の塔（ソーラーチューニー）及び地中熱利用空調システム（瀬戸日本館）	23.0
廃木材チップによる路盤材（瀬戸ターミナル）	22.7
ガラスカレットによる土の団粒化（愛・地球広場）	22.5
水素供給施設（瀬戸会場ゲート）	22.3
木質資源の循環利用技術「リグニン」（中部千年共生村）	20.7
廃棄物ゼロを目指したオイルパームの有効活用（グローバル・コモン6：マレーシア館）	20.7
森の自然学校	20.3
バイオマスボードによる半乾燥地域の緑化（グローバル・コモン5：アフリカ共同館・ガーナ）	18.9
環境省「ECO LINK」エコ・リンク（森のビジターセンター）	16.0
光触媒を利用した冷房負荷低減（グローバル・コモン4：休憩所）	15.4
里の自然学校	10.8



【2】『エコマナー』の認知状況

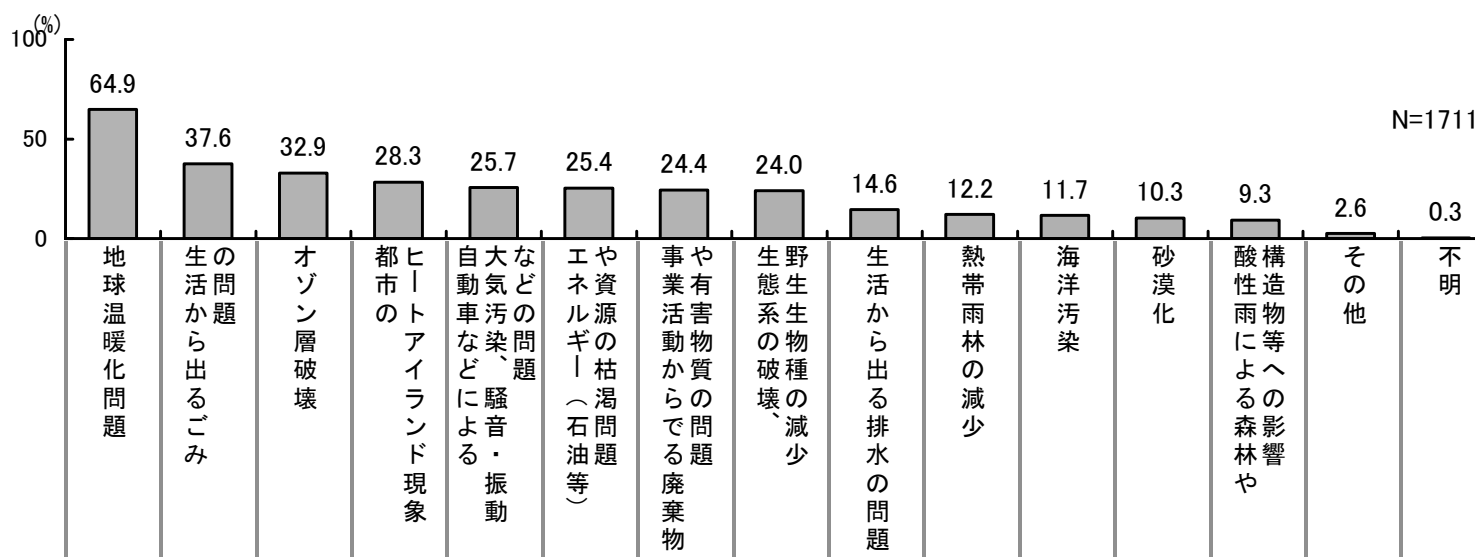


『EXPOエコマナー』については、8割以上が認知。
実際に参加したのは、認知者の5割強で、会場内で初めてポイントを貯めて参加する形。



【3】重要性を感じる環境問題

＜重要視している環境問題＞



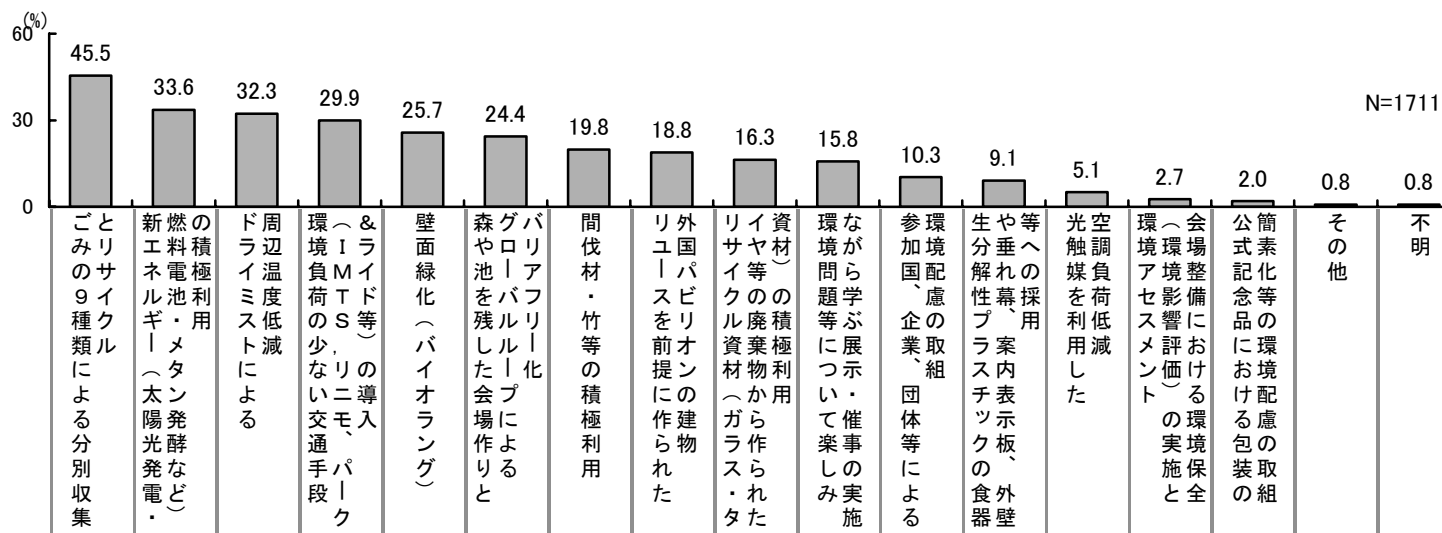
注) 多くて3項目まで選択

「地球温暖化問題」が特に重視されている。
 その他では「ごみ問題」「オゾン層破壊」などがあげられている。



【4】印象的な『愛・地球博』の環境配慮活動

＜印象に残る「愛・地球博」の環境配慮活動＞

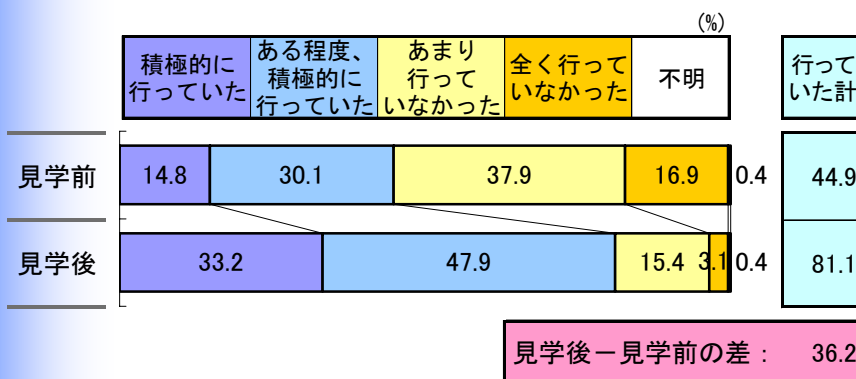


「ごみの分別収集とリサイクル」が、来場者にとって特にインパクトが強いものとなっている。また「新エネルギーの積極活動」や「ドライミスト」の印象なども強くなっている。

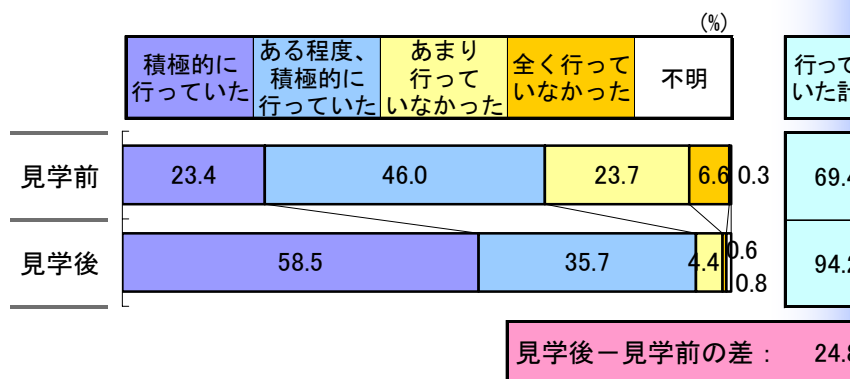


【5】『愛・地球博』の見学による環境意識の変化

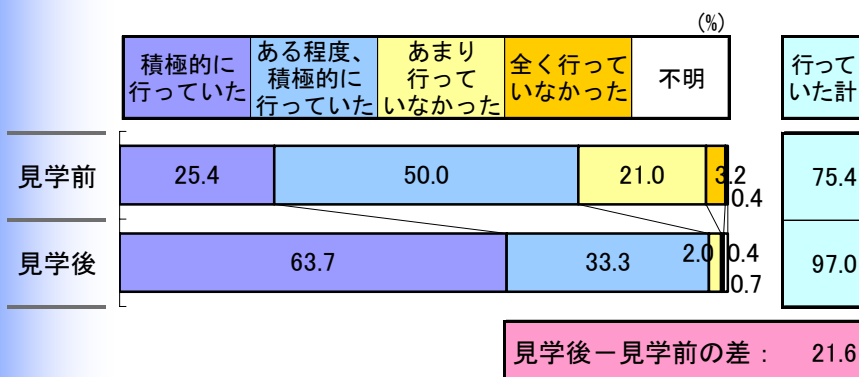
① 自家用車の利用を控え、公共交通機関をできるだけ利用する



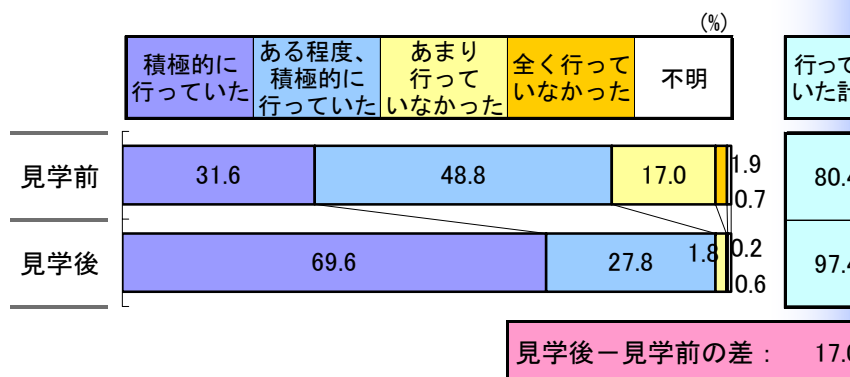
② 家電製品などの機器類の購入時は省エネルギー型の製品を選ぶ



③ 家庭・職場では省エネルギー（節電等）に努める



④ ものを繰り返し使用したり、ごみの減量、分別・リサイクルを行う



4項目の全てで、見学後＞見学前となっており、愛・地球博の見学が環境意識の形成に結びついている。

【6】環境意識の形成度の検討

1. 意識変化の個人得点の算出

<見学前の意識>

積極的 にいた	ある程 度にいた	あまり なかった	全くな 行かっ た	不明
------------	-------------	-------------	-----------------	----

自家用車の利用を控え、公共交通機関をできるだけ利用する
家電製品などの機器類の購入時は省エネルギー型の製品を選ぶ
家庭・職場では省エネルギー（節電等）に努める
ものを繰り返し使用したり、ごみの減量、分別・リサイクルを行う

4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点

見学前
得点

()点

A

<見学後の意識>

積極的 にいた	ある程 度にいた	あまり なかった	全くな 行かっ た	不明
------------	-------------	-------------	-----------------	----

自家用車の利用を控え、公共交通機関をできるだけ利用する
家電製品などの機器類の購入時は省エネルギー型の製品を選ぶ
家庭・職場では省エネルギー（節電等）に努める
ものを繰り返し使用したり、ごみの減量、分別・リサイクルを行う

4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点
4点	3点	2点	1点	0点

見学後
得点

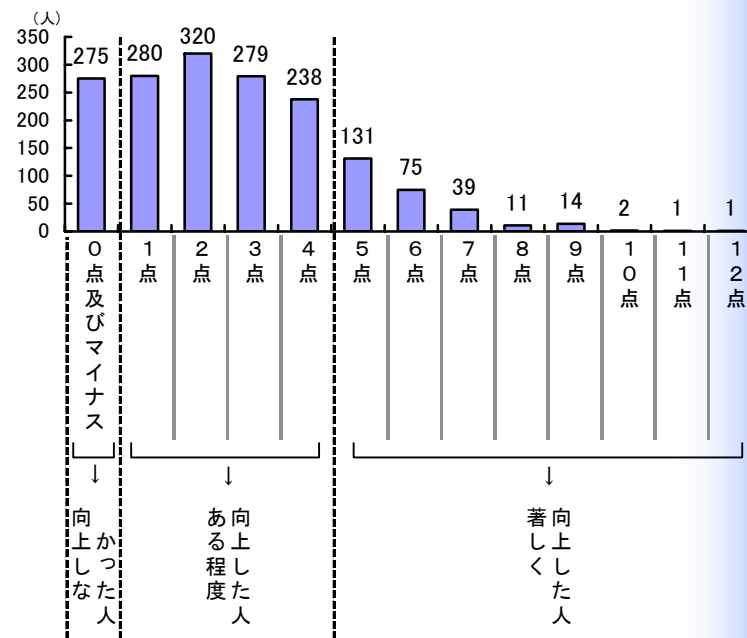
()点

B

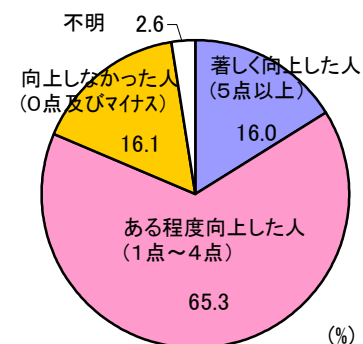
意識変化の個人得点＝見学後得点（B）－見学前得点（A）

2. 個人得点の分布によるグループ分け

<意識変化の個人得点>

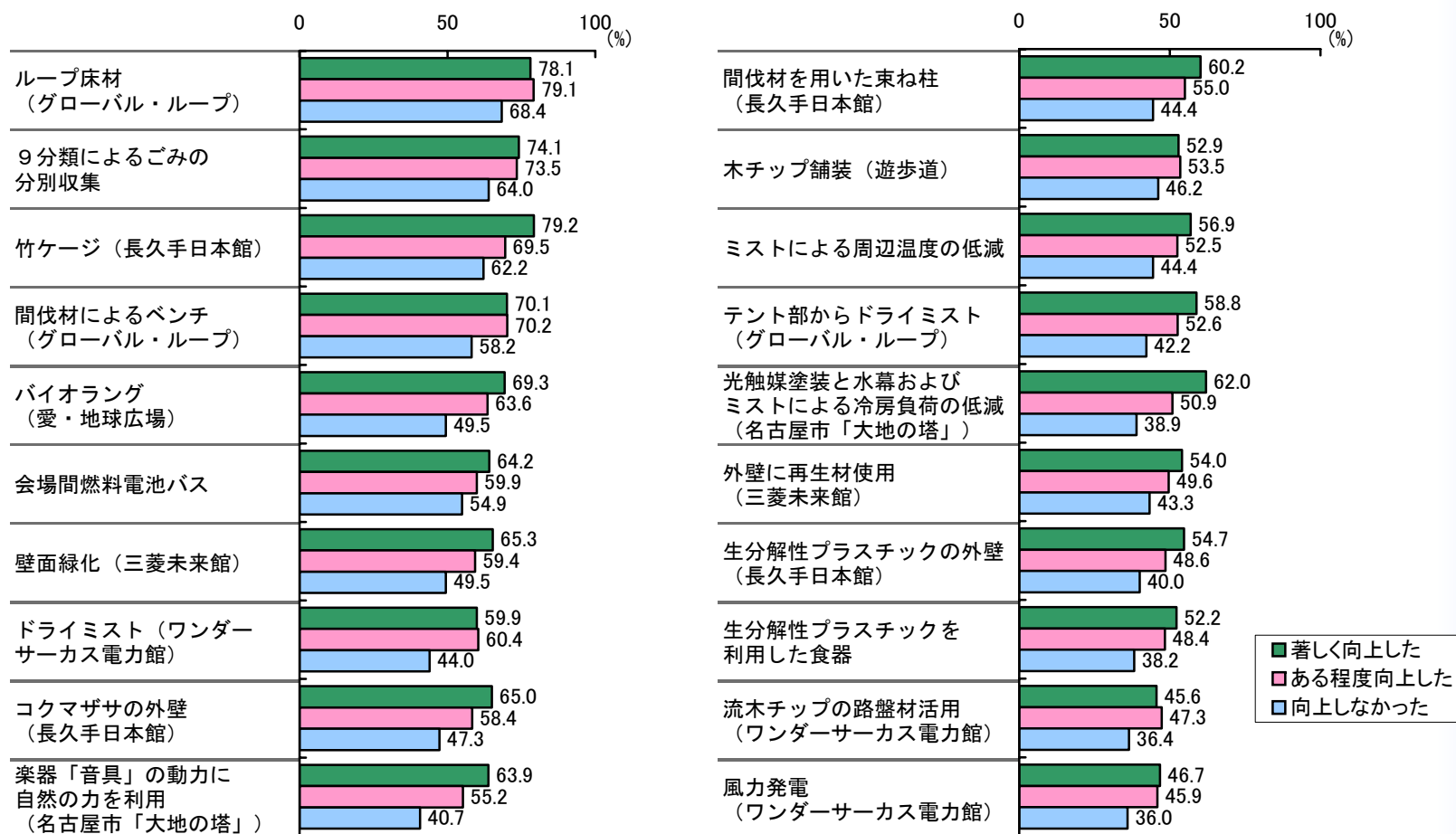


<3グループの構成比>



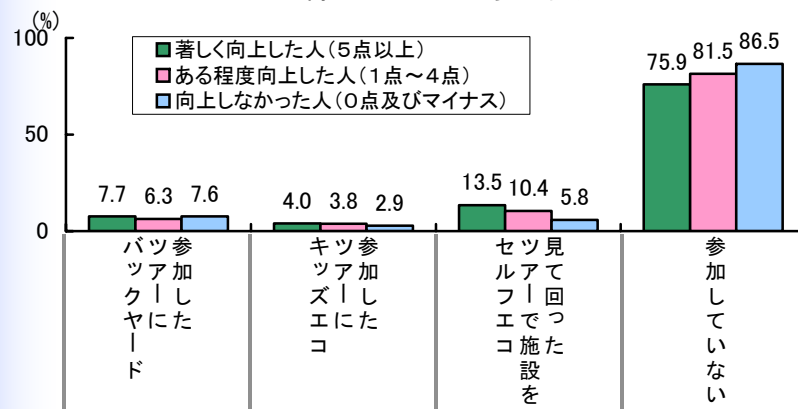
3. 見学施設と環境意識の向上の関係

< 見学施設と環境意識の向上の関係 >

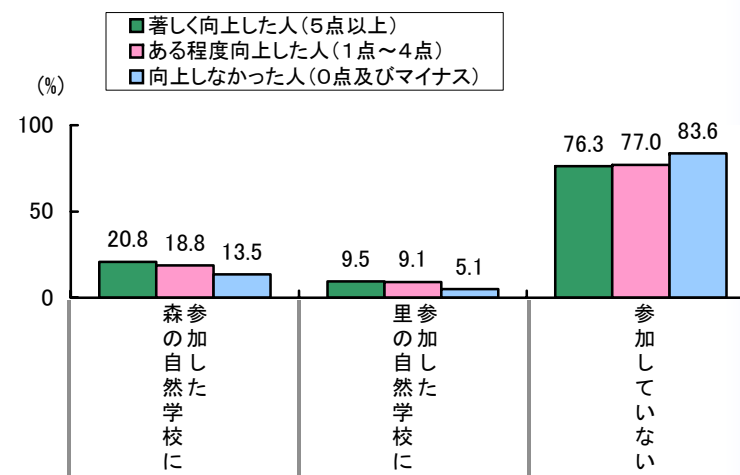


どの施設に関しても「著しく向上した人」「ある程度向上した人」と「向上しなかった人」の差が明らかで、施設の見学が環境意識の形成に結びついている。

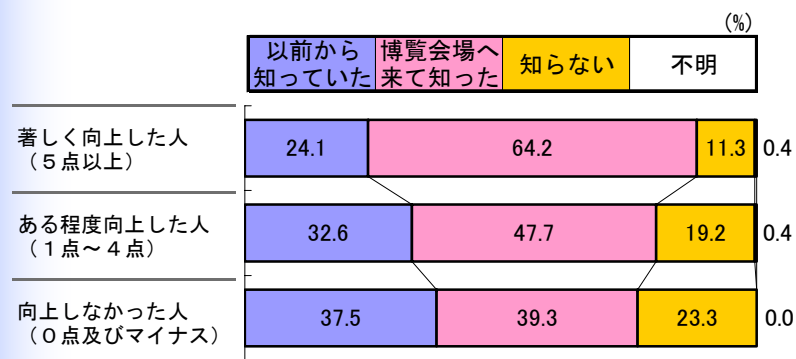
＜万博エコツアーの参加状況＞



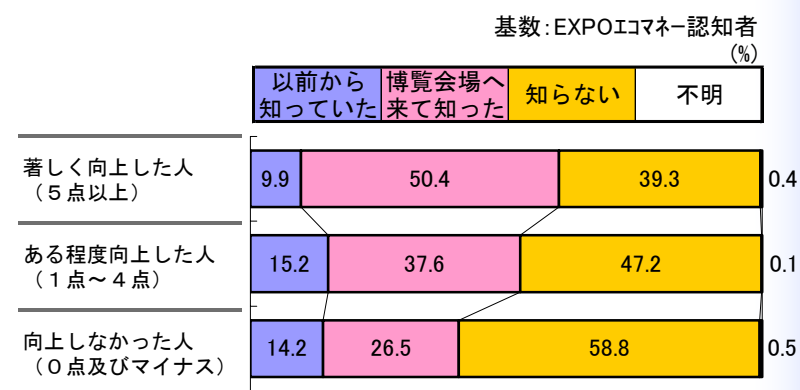
＜森の自然学校、里の自然学校の参加状況＞



＜EXPOエコマネーの認知状況＞



＜EXPOエコマネーの参加状況＞



【参照】対象者属性

<年令>

	0 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上
全 体	0.4	0.7	3.9	13.7	39.5	29.9	8.5	3.0	0.4

N
1711

<居住地>

	北海道・東北	関東	甲信越	北陸	東海 (4県)	近畿	中国・四国	九州・沖縄	国外
全 体	1.1	8.9	1.5	1.5	76.1	8.3	2.0	0.6	0.1

N
1711

<職業>

	小学生	中学生	高校生	大学生・大学院生・ 高等専門学校生	専門学校生	会社員	自営業	教職員	公務員	専業主婦・ 家事手伝い	アルバイト・ パート	無職	その他
全 体	1.5	1.2	0.9	4.1	0.2	37.8	5.4	2.8	6.3	20.2	13.0	3.2	3.4

N
1711

